



2020 年度第 4 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2020 年 9 月 26 日(土)13:00～16:40

開催場所 静岡県栄養士会事務局

出席役員 ○出席 ×欠席 ○W Web 参加

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		勤労	
氏 名	坪井	木下	新井	戸田	天野	宇津木	名波	篠原	三浦	森下	
出 欠	○	○	×	○W	○	○W	○W	○W	○W	○W	
職域事業部	地域				医療				福祉		
氏 名	若林	池谷	森平	袴田	久保田	渡邊美	鈴木	渡邊潤	田森	寺田	杉山
出 欠	○	○	○	○	○	×	×	○W	○W	○W	○
監 事	関	梅木									
出 欠	○W	×									

開 会 定刻に至ったため、木下副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うち Web 参加 10 名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、本日は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会場に来ることが出来ない理事は Zoom（Web 会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

Zoom（Web 会議）システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき、坪井会長がこれにあたる。

議事録作成者の選出

議長により、本理事会の議事録作成者に、医療事業部の久保田理事、地域活動事業部の森平理事が指名された。

1 会長あいさつ

コロナについては、通常業務をコロナと付き合いながらやるという社会の情勢に変わってきた。いつまでも栄養士会も事業を停滞させていられないので、本日も幾つか審議していただきたい事がある。今回の理事会も Web 参加者が過半数となった。あとで今後の会議等の在り方を検討するが、研修会については静岡県の行動指針に従って行うように。

日本栄養代謝学会、静岡栄養・代謝の集いなどご尽力いただいた長谷川史郎先生がご逝去された。

2 前回議事録の確認

第 3 回理事会議事録は、全会一致で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

(1) 坪井会長

7月30日（木）	第1回静岡県8020推進会議	静岡県歯科医師会館
8月7日（金）	大手スーパー社長と面談（管理栄養士雇用について）	静岡市内
8月29日（土）	東海北陸地区ブロックWeb会議（会長・副会長）	静栄事務所
8月30日（日）	東海北陸地区ブロックWeb会議（会長・行政・連盟）	静栄事務所
9月1日（火）	県、地域包括ネットワーク会議	ブケ東海 4F
9月18日（金）	牛乳協会料理コンテスト（書類審査）	ホテルセンチュリー 2F
9月25日（金）	三役Web会議	静栄事務局

(2) 木下副会長

8月1日（土）	名簿検討委員会	静栄事務所
8月29日（土）	東海北陸地区ブロックWeb会議（会長・副会長）	静栄事務所
9月19日（土）	「健康な食事」について考える講座講師養成研修会	あざれあ
9月25日（金）	三役Web会議	自宅

(3) 新井副会長

8月29日（日）	東海北陸地区ブロックWeb会議（会長・副会長）	静栄事務所
9月5日（土）	食物アレルギー研修会：Web対応	あざれあ
9月6日（日）	都道府県生涯教育担当者Web会議：日栄側にて出席	静栄事務所
9月6日（日）	研修部Web打ち合わせ	静栄事務所
9月25日（金）	三役Web会議	静栄事務所

4 報告事項

(1) 研修部

① 9月5日（土）食物アレルギー研修会 報告

・参加：会場 17名、Web 78名

・アンケート回収：78件

＜アンケート結果＞（資料参照）

・会場以外での参加：「パソコン」60.9%、「スマホまたはタブレット」39.1%

・研修内容：「よく理解できた」74.4%、「理解できた」25.6%

・新しい研修会の形式：「よかった」94.9%、「ふつう」5.1%

・今後Web形式の研修会への参加：「是非参加したい」77.9%、「参加したい」20.8%

「研修内容により」1.3%

・「Zoom研修会はとてもよかった」「こういう研修会ならどんどん参加したい」等好評

＜課題点＞

・講演中の参加者の管理（途中入室や、退席した場合の再入室の許可などの対応）が必要
共同ホスト等の工夫が課題

・当日にIDやパスワードがわからないなどの問い合わせがあったが、対応困難

事前にご自身で確認・準備しておいていただく必要あり

- ・ホームページから資料をダウンロードできるとアナウンスしてあったが、「できない」と問い合わせあり。会員専用ページへのログインが最初のページにないため、入り方がわからなかったことも原因。ホームページの構成などについても、相談が必要
- ・参加者は画面上に映さない形で実施。受講者の反応が見えず、講師のモチベーションはあがらない
- ・参加者を映すと運営側で調整が必要。また参加者のギガ数にも影響がでる。

②9月6日(日) 日栄 生涯教育担当者会議 報告(資料参照)

1. 2020年度生涯教育の運営について

- ・基本研修 e-ラーニング配信科目：(必須)の項目で配信準備
- ・e-ラーニング申込フローと開始時期
日栄へ申込→入金→受講者へ URL→期限内受講・確認テスト→単位付与
10月～開始(10月受講:9/20まで申込、11月受講:10/20まで申込…)
- ・その他「がん」「摂食嚥下」「保健指導」=11月～1か月間受講:9/14～10/16 申込
「保健指導担当者」=12月～1か月間受講:申込日調整中
- ・1単位千円、日栄にて受付・入金確認・受講連絡から単位付与まで担う
(諮問会議で日栄一本化の意見が多数であった)
- ・受講料は日栄に入金。各県への分配はなし
(TNT-Gは申込窓口が各県。対応が異なるため、県栄にも収入がある)
- ・資料等は、受講者がダウンロードする(著作権など取扱に注意が必要)
- ・確認テストは、全視聴したことの確認の意味で実施。難しい内容ではない
(確認テストのボーダーは全問正解)
- ・演習やグループワークなどは必要。各県で対応してほしい
- ・これまで同様に各県で基本研修を企画・運営・開催し、単位付与することも可能

<参考資料>

- ・各認定制度 認定者数(2019年度末)
- ・認定管理栄養士・栄養士(8分野):72名(医療41、学校3、健康・スポーツ3、給食3、公衆5、地域6、福祉(高齢・障がい8、福祉(児童)3)
- ・特定分野(6分野):3,067名、
- ・専門分野(5分野):1,187名
- ・TNT-G受講申し込み状況:1244名(6～10月)、静岡県31名

<意見交換>

- ・単位付与については、業務支援システムのマイページで、本人が確認
- ・オンラインの環境がない方に、事務局へ集合しての受講は可能か?
→基本は、1IDに、1URL、1単位の対応。
→鹿児島県では日栄と相談して、TNT-Gを集合の形で参加・対応してもらった
- ・専門分野の認定に向けて、現在は各学会との共同認定。日本栄養士会の認定管理栄養士・栄養士の数を増やすためには、制度の見直しも必要

- ・生涯教育のハードルが高いとの意見もあるが、受講者が増えるためにはどうすればよいか。
- ・会場の人数制限があり、講演を録画して後日に配信する方法を検討中。
その場合の受講料金について→対面も録画視聴も、同金額で設定している県が多い
- ・オンライン研修となり、他県の研修会への参加機会も広がっている。研修会情報の共有では、日栄ホームページの研修会絞り込み検索の機能を利用するとよい

③ 2021 年度生涯教育の運営について

- ・受講機会の均等の目的で、2021 年度以降も e-ラーニングの継続検討中
- ・各県へ意向確認あり(→賛成多数)

③今後のスケジュールについて

- ・2021 年度は、必須項目に加えて必須ではない項目も追加していく予定
(特に集客が少ないけど大切な内容、学会発表や関連法規などを計画中)
- ・配信されたスライドに若干のブラッシュアップをして準備していく
- ・個人のペースで学べる仕組み作りをしていく
- ・各県では、人ができるだけ多く集まる研修会(実務)を行っていく

(2) 地区事業部 (名波理事)

①しずおか元気応援フェア 2020 (10 月開催予定) について

- ・ブース出展計画書を提出してあったが、7 月 30 日に中止が決定した。

②しずおか健康づくりサポーター&県民連携・協働のつどい in 沼津について

- ・日 時：11 月 12 日 (木) 13:30~16:00 (受付開始 13:00)
- ・会 場：プラサヴェルデ コンベンションホール B (沼津市大手町 1-1-4)
- ・昨年度まではブース出展であったが、今年は近年の連携・協働のつどいを含むイベント等での取り組みについて、サポーター事例発表 (10 分) を予定している。
- ・主なスケジュール 13:40 サポーター事例発表 3 事例
14:15~15:30 講演会 講師 東海大学教授 久保田晃生氏
演題 仮)「外出自粛と在宅勤務の運動不足解消」

(3) 広報部 (篠原理事)

- ・10 月 4 日午後 13 時より 第 1 回広報部運営会議を予定。ワードプレスの入力の仕方について山崎氏より講義を受ける。(講義内容については Zoom 録画し、Web で共有できるようにする)

(4) 学術部 (戸田理事)

- ・8 月 23 日 (日) に、会員より事務局へ第 6 回静岡県栄養士大会 (実施の有無、募集要項の公表時期) について問い合わせがあった。

(5) 静栄 DAT (渡邊理事)

①2020 年度 JDA-DAT 体制に係る担当者会議《Web》

9 月 13 (日) 10:00~12:00 出席：池谷理事

- ・リーダー・スタッフ 5000 名を目標に育成を進めていく。

- ・昨今の災害状況（局地的な災害）支援状況（県内 DAT または地区ブロック内の DAT が支援）を鑑み、近隣栄養士会 DAT の連携強化を目的として組織の再構築が必要。
- ・運営委員の改選（地区 7 ブロックからリーダー・サブリーダーを選出し計 14 名が運営委員となる予定）。
- ・今後、都道府県栄との緊急時連絡網の整備を進める。各県の連絡先を複数化する。
- ・本年度はスタッフ育成助成金の代わりに、日栄より各都道府県栄に特殊食品等の備蓄食を配布する。災害時により早く特殊栄養食品ステーションを開設するためのベースとしていただき、次年度以降は各県栄で備蓄を継続していただくために、助成金の勘定科目に備蓄食の購入を追加する。

②2020 年度 JDA-DAT リーダー研修《Web》について

- ・開催日：2021 年 3 月 12 日（金）～14 日（日）を想定しているが、実施日数等を含め詳細は今後運営委員会で検討していく。参加費 20,000 円程度（スタッフユニホーム購入費含む）
- ・ブロックごとに被害想定を作成して実施することも検討中。

(6) 学校健康事業部(戸田理事)

① 「食物アレルギー研修会」 ※ (1) の研修部の報告参照

- ・昨年は講義 1 単位と演習 0.5 単位で実施していたが、今回は講義 2 単位として行った。
- ・長谷川先生の丁寧な講義により、受講者の満足度も高い研修となった。

②「東海・北陸区 学校健康教育 VSC (8 月 9 日実施)」

- ・‘新型コロナと災害に関わる学校給食の安全な運用について’を議題に web で開催。
- ・各県の新型コロナウイルスによる休校時の対応（業者への支払いや預かり児童への食事提供）、学校再開時の給食指導について情報交換を行った。
- ・静栄 DAT の活動を参考にしたいという声が上がった。

③2020 年度生涯教育「学校栄養」分野（実務研修）

実施日程：1 月 17 日（日）オンライン研修（45 分×2、単位数：講義 1）

講師：(株) スマートプレゼン 新名 史典 先生

研修科目：対象者に合わせた効果的な情報提供方法

(7) 公衆衛生事業部(宇津木理事)

1. 「令和 2 年度東海北陸地区栄養士会長等合同会議（行政会議）Web 会議」

8 月 30 日（日）10:00～12:00 静岡県栄養士会事務局

出席：坪井会長、県健康増進課大石専門主査、宇津木公衆衛生事業部長

①栄養士会との災害時の栄養・食生活支援協定の締結

静岡県：災害対策基本法第 2 条第 6 号に基づく指定地方公共機関（H25 指定）

石川県：災害時の医療救護等に関する協定書（H29. 6. 30 締結）

愛知県：災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定書（R2. 3. 24 締結）

三重県：災害時における栄養・食生活支援活動に関する協定書（R2. 3. 25 締結）

富山県、福井県、岐阜県：なし

②新型コロナウイルス感染症対応における県事業の進め方

富山県：調理実習・試食は中止。市販食品の配布で対応。人を集めての研修会は感染症防止対策を徹底して実施。

石川県：料理教室は実施せず、レシピ等の配布による普及活動に変更。

福井県：研修会は原則リモートとするが、感染防止対策の徹底を図った上で実施する場合もある。調理実習は中止。

静岡県：地域の状況で判断（中止、Web方式、感染防止対策を徹底して開催）。

愛知県：各保健所の状況に併せて（中止、延期含む）実施。

三重県：研修会はオンラインの活用を検討中。大人数が集まるイベントは中止。

岐阜県：調理（飲食）を伴う教室は、啓発媒体の作成、配布による事業に変更。

研修会は地域の状況に合わせて可能な限り実施している。

③県から栄養士会への委託事業について

富山県：栄養の日・栄養週間普及推進事業、健康寿命日本一応援店推進事業、シニアの食生活支援推進事業

福井県：配食事業者認証制度、糖尿病重症化予防事業

静岡県：管理栄養士向け介護予防推進指導者育成事業、食品表示適正化・活用普及事業、食べるから繋がる地域包括推進事業

三重県：栄養成分表示活用促進事業、糖尿病等生活習慣病発症予防食習慣啓発事業

岐阜県：地域高齢者のフレイル予防事業、子ども食堂のための食育応援事業

石川県、愛知県：委託事業なし

2. 「2020年度公衆衛生全国リーダー研修会」

9月6日（日）13:30～16:30 WEB参加（自宅）出席：宇津木公衆衛生事業部長

①公衆衛生職域の基本理念・ビジョン・2020事業計画について、（公社）日本栄養士会公衆衛生担当理事から説明があった。会員入会率は都道府県で差が大きい（R元加入率 静岡県 78.0%、全国平均 74.9%）。高齢・介護部門への栄養士配置（R元配置率6%）が望まれる。現有人材をいかに活かすか。体系的な現任教育、一定の学習・研修環境が得られる仕組みづくりが必要。

②栄養施策の動向について、厚生労働省健康局健康課栄養指導室 塩澤室長補佐の講演。「地域保健総合推進事業」の一環で「大規模災害における栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成に関する研究」を実施。ガイドライン、教材集、アクションカードを作成。ダウンロード可能。食料備蓄の重要性の普及啓発と備蓄推進を目的に「大規模災害時に備えた栄養に配慮した食料備蓄量の算出のための簡易シミュレーター」を作成。

東京栄養サミット2021年12月の開催予定。健康、食、強靱性、説明責任、財政が主なテーマ。食事摂取基準を活用した高齢者のフレイル予防事業で啓発パンフレットを作成。

管理栄養士等の専門職が参画して適切な栄養管理を行う「健康支援型配食サービス」を地域で展開。（取組事例：新潟県長岡保健所、兵庫県、神奈川県大和市）

③新型コロナウイルス感染拡大における行政栄養士業務実態調査（速報値）について（公社）日本栄養士会公衆衛生事業推進委員会委員から報告あり。提出期限を9月18日まで延長するので、未回答の自治体は至急提出するよう依頼してほしい。

④行政栄養士による活動事例集について（公社）日本栄養士会公衆衛生事業推進委員会委員から説

明あり。今年度の重点テーマは、「高齢者の介護予防・フレイル対策」、「新型コロナウイルス感染症に対応した「新しい生活様式」における食生活の変化や課題に応じた栄養・食生活支援」、「頻発する自然災害に応じた栄養・食生活支援」、「自然に健康になれる食環境づくりの推進」。都道府県における活動を1事例、保健所設置市、市町村における活動を1事例、2021年2月26日(金)までに提出する。

(8) 地域活動事業部 (若林理事)

- ・2020年度全国リーダー研修会については、2021年1月30日(土)10時よりリモートで行うことになった。
 - ・2020年度の東海北陸ブロック研修会は中止となり、来年度の開催は今年度予定した愛知県となる。その関係で、静岡県は令和4年度に担当県となる。
- また日本栄養士会の組織編成があり2019年10月20日に職域の運営規定が一部変更になり、企画運営○○事業部から職域統括事業部○○となった。これは日本栄養士会の職域事業部は組織上一つであるので、職域ごとに○○事業部とはせず、と理事会内で決定した為である。
- それにより当該職域は「地域統括事業部 地域活動」となり、委員会は「地域活動事業推進委員会」となったと日栄地域活動だよりにて連絡あり。

(9) 医療事業部 (久保田理事)

2020年東海北陸地区リーダー研修会

8月27日(土)13:00～16:45 参加者：久保田医療事業部長 (Web 自宅)

<協議事項> 2020年上半期地区リーダー研修会統一議題

1. 実態調査 (業務量調査) について、

調査時期：令和2年10月から12月にかけての任意の連続する35日間

対 象：都道府県医療事業部企画運営委員が勤務する医療施設 約350施設

回答方法：日栄HPから調査票をダウンロードし提出先アドレスへ送信

*各県の医療事業部役員、運営委員の施設に調査依頼。日栄でも質問に応じるなど対応するが、各会員への説明は各県代表の役割として行うよう常任より依頼あり。

2. その他

- ①医療職域のビジョンについて、日栄のHPや雑誌への掲載などで周知を行う。各県でもHPや研修会等の機会に説明、周知を行っていただきたい(常任より)。
- ②今後の食事療法学会のあり方について、2年毎の開催やWEB研修との併用などの意見が出された。(今年度京都開催は中止。2021年3月6日(土)午後にWEB開催予定)
- ③2020年診療報酬改定の新たな取り組みを始めている施設も多いが、チームや病院の体制により算定がすすんでいない施設もある。2022年の要望では、病棟配置や特別食加算(嚥下、がんなど)が出された。また、食事療養費と包括病棟の対応などは引き続き議論があった。
- ④会員増対策では、退会者を出さない工夫や管理栄養士・栄養士の業務紹介、PRの冊子や動画作成などの意見が出された。また、勤務施設に入会案内を送るなどの案も出された。
- ⑤COVID19での各施設の対応について、職員のメンタル面での気配り、患者対応や食器、配膳の工夫などの報告あり。給食事例などのマニュアル化の要望があった。

(10) 委託事業（若林理事）

①元気をみつめる外食活用講座の講師養成講座

- ・9月19日に22名の参加で実施された。

この研修会に参加された方で高校生の外食活用講座の講師と助手を依頼した。

②飲食店向け「健康な食事」推進事業

- ・営業指導センターの東部の沼津支部11月24日、中部の島田支部が10月20日に開催することとなった。当初の計画では飲食店の方を集め、健康な食事についての講話と実際の「健康な食事」に適した飲食店向けの料理の試食を予定していたが、試食ができないため、レシピの提供または動画でのレシピ視聴にする予定である。

参加者は各支部15名の予定。（別紙 資料案内チラシ）

③食品表示適正化推進事業

- ・9月12日 食品表示講習会の受講生募集について衛生課 齋藤朋子様と協議

今年度募集人数を決定したため、「食品表示講習会受講申込書」、を県のホームページに掲載し募集を始める連絡をいただいた。順次、開催予定

11/13（金）沼津市：プラサヴェルデ	80人
11/17（火）掛川市：掛川市生涯学習センター	60人
11/25（水）焼津市：焼津文化会館	50人

5 協議事項

(1) 2021 年度予算編成について（木下総務部長）

①事業計画について（木下総務部長）

- ・11月末までに各事業部の来年度予算申請を提出する。今年度はコロナの影響もあり事業が行われていないものもあるので、12月の理事会では今年度の予算執行状況を明らかにする。
- ・事業が昨年同様とはいかない情勢である。三役会議では、出席者は少なくなるが密にしない、Webでも行うなどの方針である。会場、出席者、講師の問題があるが、「静岡県のコロナ対策」に準じて開催する。但し開催担当者は会場の感染対策を踏まえて感染予防策を行う。（アルコール消毒、マスク着用、講師のフェイスシールドやアクリル板の設置、最前列を空けるなど）
- ・講師については勤め先（他県の場合など）の問題があるので、担当者は打ち合わせを密に行う。情勢が変わった場合にはWebへの切り替えなども行う事ができるように計画する。
- ・会員は研修会を望んでいる。できるだけWebでも受講できるよう企画する。また、ホームページに気楽に相談などつぶやけるような環境づくりを行うなど、退会者を減らす努力を行い魅力的な会にしていきたい。
- ・従来とは異なるため、気づいた点や他県からの情報などは事務局、担当者へ発言していただき、研修の充実、スキルアップに努め、方策を検討する。
- ・総会について、多くの人の参加を希望するが、次回はできれば事業部別に出席者数（定員）を決めて、密にならないようにする。その他の会員は書面評決、Webでも行う。これら三役会議での提案は全会一致で承認された。

(2) 研修部（鈴木恭子理事）＊欠席のため学術部

① 2020 年度 研修会計画

- ・ 3 事業部合同研修は延期となっている。1～3 月で集合＋Web の形式で検討中
(1/11 (月・祝)、2/6 (土)、3/6 (土) 午後で、あざれあ大会議室を仮予約済)
- ・ 医療事業部研修は保留(未定)
- ・ 福祉・公衆合同の介護研修は、対象が一般であり未定。開催したいが工夫が必要
- ・ 9/5 のアンケート結果でも、研修会を開催してほしいとの要望は多い
- ・ 可能であれば、年度内に Web 研修を実施したい
- ・ 地区研の研修等も講師の許可が得られれば、Web 配信の検討もできるとよいのではないか
- ・ 研究教育の新井先生・篠原先生のお力をお借りし、Web 配信で研修会開催を検討
(これまでに作成してある資料活用で、Web 配信形式で講義をお願いできないか相談)
- ・ 次回の通知文の配送が 12 月となるため、1 月以降の計画でよい。
- ・ 早めに研修会の企画ができれば、はがきなどで「栄養士大会の予告」と「研修案内」を通知することも可能か相談したい

＊栄養士大会は開催したい。演題募集について通常 12 月であるがもう少し早めにならないか。
ポスターでなく会場で 1 人ずつ発表する形式を考えており、募集したい。
通知は 10 月発送、12 月に演題の募集を締め切り。

②2021 年度 研修会計画

- ・ 現状では未定
- ・ コロナ禍において開催した Web と会場併用の研修会は好評
- ・ 次年度以降も、集合研修だけでなく Web 研修も含めて検討が必要
- ・ 年間計画を早めにたてて周知できるように準備していく
- ・ 年度末ではなく、早めにビジョン等を打ち出し、枠組みを組み立てる
- ・ Zoom は現在の契約では上限が 100 名であるが、場合によっては 300 名可能な契約（月単位）も検討
- ・ オンラインが可能であれば、これまで交通費＋講師料でハードルが高かった先生への講演依頼も可能となり、集客が望めるかもしれない

(3) 栄養ケア・ステーション部(寺田理事)

前回の理事会で担当者が決まっていなかった件について、9 月 25 日の三役会議にて決定し発表。

部長：寺田理事 担当：(地域)若林理事・(医療)久保田理事・(福祉)杉山理事・(公衆衛生)名波理事・(地域)袴田理事・(ケア・ステーション中央)紅林事務員・鈴木事務員
オブザーバー：新井副会長・木下副会長

- ＊認定栄養ケア・ステーション：桑原会員、中野会員、メイプル薬局（杏林堂は申請中）はすでに日常業務として携わっている。これら活動を日栄に報告する必要がある。
- ・ 担当理事は静岡県栄養士会がケア・ステーションとしてどういう事を県民の為にやっていくか、

会員とどのようにコラボしていくかを話し合う。

- ・副部長は互選で決定する。会議への参加は担当理事でなくても代理出席は可能。
- ・各地域で実際の活動に携わる人を探し、各地域の要望に応えていく。
- ・認定栄養ケア・ステーションのメンバーを加えたワーキンググループで年2回報告を兼ねて会合。(ワーキンググループの掌握と指導) 静岡県栄養士会より日本栄養士会に活動報告を実施。
- ・すでに県、市町の業務は各地区に依頼されているので、中央で把握し3ヶ月に一度理事会で報告している。
- ・第1回会議：11月8日(日)開催 時間は未定。Web参加も可能とする。

(4) 学術部 (戸田理事)

2020年度第6回静岡県栄養士大会について

<方法・日程について>

- ・あざれあ会場及びWebでZoom Live配信により実施。発表者は、パワーポイントを利用
- ・候補日：令和3年2月23日(火・祝)、3月6日(土)、3月13日(土)

※あざれあ会場 2階大会議室予約済み(定員70名)

Zoomの定員は100名(契約方法次第により、増員可)

<内容について>

- ・演題募集公表時期…次回事務局からの会員発送資料は12月
⇒★ホームページやメール配信により、12月以前の公募は可能か
- ・演題募集数 最大15演題(一人当たり発表5分、質疑応答2分) ※約2時間
- ・★例年行っていた午前中の講演会と午後の発表会を同日に実施するか別日(2日間)とするか。
- ・★賛助会員の参加の有無(Web参加は可能か)、おたのしみ抽選会の実施の有無

<決定事項>

- ・日時：2021年2月23日(火・祝) 半日
- ・会場：あざれあ2F大会議室最大70名の参加とする。Web参加は100名定員。
但し参加状況を見て、Web契約を300名に変更する事も検討。
- ・発表形式はパワーポイントで会場での発表を前提に募集する。ただし募集状況を見てWeb発表なども考慮する。演題数や発表時間は半日で計算し、学術部が調整し決定する。
- ・公募期間について、去年は8月に書類発送12月演題締め切りであったが、今回ははがきで全会員に発送する。はがきの内容は学術部で作成。広報部よりHPへ内容を掲載する。
- ・今回は演題発表のみで講演会は行わない。演題の内容は自由とする。
講演会を別日に行うかどうかについては、日程や内容を含め学術部と新井副会長で検討する。
- ・単位認定について、Zoom参加の場合、途中参加や退出などで確認できないという意見があるが、従来通りレポート提出をもって認定とする。
- ・賛助会員の紹介(Web参加)、お楽しみ抽選会の実施について、賛助会員にはどこかで商品紹介の場がないと会員のメリットがなく退会してしまうのではないかと意見があるため検討する。

(5) 地域活動事業部（若林理事）

三事業部合同研修会の予定は、講師が講演に来て実施したいという希望があり許可いただけるかどうか。（講師希望の研修会開催日は2月6日（土）あざれあ大会議室）

- ・講師は東京（昭和大学）で県外から来静し Web でなく会場での講演を希望しているが、当会では静岡県の行動指針に従い研修会を開催する必要がある。担当者は講師に自宅（職場等）から Zoom で講演していただくよう説明を行い、会場設置と Zoom 参加で企画する。
- ・講師の回答によっては今回コロナ禍の状況である事を踏まえ、県内講師への変更も検討する。

(6) 福祉事業部（田森理事）

①ズーム寺子屋開催について

11月14日開催を検討中。Zoomの運用は静岡県栄養士会のホストを利用して行った方がよいか。

- ・8月末契約済（アレルギー研修会100名）のホストは事務局名である。本来は（担当者ごとにアカウントを取得）するのだが、IDとPWはひとつを共有している。

静岡県栄養士会の Zoom を利用し研修会を開催する場合、担当者（責任者）は、栄養士会事務局で栄養士会の PC を使用し行う。

アカウントは静岡県栄養士会でも個人のものでも可能であるか

- ・寺子屋の場合は基本的に Zoom 中心と考えている。個人のアカウントを利用した開催も可だが、静岡県栄養士会の企画事業として行う場合は、企画書と報告書の提出、三役は内容を吟味する。

② 在宅介護者支援事業について 動画配信（ユーチューブ）等の検討

- ・県民（一般）への啓発であるが対面が困難。研修会を中止し紙媒体（パンフレット）を作成し在宅（地域包括支援センター等）に配布する方向で承認された。予算内（6万円）で調整し作成する。

動画配信（ユーチューブ）は個人の負担が大きい事も懸念され、今回見送る。

*パンフレットについては、次回の理事会で披露できるようにする。

*地域包括に関して良い提案をしていただきたい。在宅支援のための研修会資料が栄養士会にあればよいと思う。取り組むべき課題である。

(7) 委託事業（若林理事）

①管理栄養士・歯科衛生士 介護予防推進指導者育成事業

紹介の仕組みづくりについて

9月19日に担当者会議を開催 検討し案を作成したので提示する。

県からも紹介の仕組みづくり案が来ている。それに合わせて業務の依頼書と報告書案について意見をいただきたい。（資料添付）

- ・3年間で450名の登録を目指し今年度150名を目標。9月18日現在 管理栄養士・栄養士206名参加。（レポート提出し登録）できるだけ多くの登録を目指す。（市町栄養士は除く）

歯科衛生士：314名 行政：42名 地域包括支援センター職員：13名 計575名

- ・10～12月中に体制づくりのための会議を開催する。

紹介の仕組み；「紹介依頼書」を作成し各栄養ケア・ステーションに提出してもらう。管理栄養士は事業報告完了届を提出。提出後に支払い（振込み）

<書式の修正>

- ・様式4 完了届:「業務詳細」とし「業務内容と感想」は削除⇒今後の参考にすべき点など記入
「参加者または相談件数」欄⇒「受講者数」と「相談件数」に区分する
- ・通いの場 図の矢印:機関型、地域包括支援センターと市町担当者は1つにまとめ、下矢印
- ・業務内容:その他は削除⇒各種講話・栄養相談とし、() には講話の内容を記入
(報告書も修正)
- ・対応可能か判断:各地区への紹介依頼に支部という表現事務局(東部・中部・西部)で調整⇒
依頼の市町に紹介者の提示
以上修正する。

- ・来年以降は市町から直接ケア・ステーションに依頼がある為、要望を事前に把握しておく。
- ・管理栄養士紹介の仕組み(案)は県からの要望である。委託業務の契約には管理栄養士しか入っていない。この事業は介護保険などを利用しない、予防を目的としている。栄養士まで入ってよいのか県に確認を行う。
- ・事業の実施は、2021年1月、2月で10件(1件につき1名担当)県から市町に依頼があり実施。
来年からは各市町が直接予算をとり、市町から直接依頼書を使って業務依頼がある。
栄養士会への3年間の委託事業の為、完了届は栄養士会で保管(件数は各地区で把握)。
- *質の確保のため栄養士会として最低限の資料を提供する必要がある。資料の検討、資料作りのため10、11月に担当者会議を行い、次の理事会で報告する。

③ 食べるから繋がる地域包括ケア推進事業について (2つの事業内容)

- 1 Web研修会での開催が決まった。11月2日(月)～11月30日(月)までの期間実施する。
他職種向けの研修会なので、後援団体が8団体お願いした。チラシを作成し4500枚配布した。
管理栄養士も動画も視聴できるが案内はないので、ホームページ掲載にて視聴できる。
・10月1日から申し込み開始(現在1件)20日まで募集する。
- 2 他団体が開催する研修会(勉強会、)について講師を派遣する事業30分～1時間 食べるから
繋がる食支援ガイドを活用して講話を担当。7ヶ所実施しなければならないが、現在2ヶ所
(西部湖西市・東部裾野市)の申し込みのみなので、あと5ヶ所実施しないといけない。理
事の関係する他職種または特に市町の地域包括支援センター等で希望するところがあった
ら情報提供をお願いしたい。(特に下田と熱海 保健所管内)
・食支援Webセミナーの講演の中で、木下副会長がPRする。

④ 富士宮市食文化推進プロジェクト事業について

- 学校給食用の牛乳を使ったレシピ20品の募集が9月末までだが、まだ応募がない状態である。
学校給食関係の会員に応募をお願いしたいので声掛けを依頼したい。
締め切りが9月末だが1か月延ばし10月末とし、富士・富士宮だけでなく広くレシピ募集したい。
- ・富士の国乳業の牛乳を使ったレシピであるので富士・富士宮の学校栄養士に依頼する。
学校給食用牛乳の販売促進の目的があり、会員のオリジナルレシピである必要がある。学校教

育の理事より該当地域の学校関係の管理栄養士 12 名に募集依頼をしていただく。締め切りは 10 月末に延長する。

(8) その他

① 会員名簿の作成について（木下総務部長）

今年度より毎年名簿を発行したい。（本日午前名簿検討委員会打ち合わせ実施）

会員名簿掲載事項の回答期限を 1 月 8 日から 15 日に変更、はがきを同封し 63 円分の切手を貼って投函。掲載について、記載したくない場合の項目（①勤務先名②登録電話番号③全ての項目）に×をつける。名簿発行時期は 5 月予定。賛助会員の広告掲載料について変更した。

- ・前回までとの変更点：今回から住所は掲載されなくなる為、ページ数も少なくなる。
- ・依頼文の修正：会員名簿掲載事項の「回答」⇒「変更」。「名簿には会員番号、氏名、勤務先が掲載されます。ただし、勤務先登録のない会員は、登録電話番号を掲載します。」に訂正。
「名簿掲載を変更したい人」という表現にする。

*発行が 5 月以降となると異動も多いので、時期を考慮してほしい。

*賛助会員の名簿への広告掲載についての依頼文は「会員」を「賛助会員」に訂正、金額の説明を簡略化し金額の検討が必要ではないか。

名簿作成費は約 22 万、従来広告掲載収入で賄っていた。平成 30 年度は記念誌などの予算もあったが今後毎年作成となれば、広告掲載費用について企業負担も考慮する必要がある。

*名簿発行時期、見積もりをとった上で広告掲載費用を再検討し、次回報告するように。

② Web 会議での日当の扱いについて（木下総務部長）

新型コロナ感染拡大に伴い、WEB 会議がスタートしたが、Web 参加の場合の日当の扱いについて審議いただきたい。

- ・Web 会議参加の場合、本来「日当」は移動する時に支払われる。となっているが、理事会を通して、この場合も「日当」として 1,100 円支払うこととする。全会一致で承認された。

③ お友達紹介制度の次年度継続について（木下総務部長）

今年度制度利用入会者 9 名 次年度も続けるかどうかについて審議いただきたい。

今年度対面の研修会が開かれていないので、大半の会員に景品を渡せていない(15 名)。今後も研修会で渡すことが困難な場合、年度末に個別送付するかどうか審議いただきたい。

- ・9 名のうち 3 月まで研修会参加のない会員については年度末に景品を郵送する。
- ・この制度は 7 年前から実施し今年度で景品の在庫がなくなる。継続するかどうかについて審議。
お友達制度による入会者数は年々下がっていると報告あり。この状況下を踏まえ、今年度をもってこの制度は廃止とする。全会一致で承認された。

*会員増対策については、他県の状況も確認してよい方法を模索する。Web や Zoom の活用など新しい方法を取り入れ会員増を検討する。

(8) 新入会員の承認について（木下副会長）

新・再入会員 18 名と転入会員 1 名が承認された。

6 連絡事項

(1) 叙勲の内定、大臣表彰、県知事表彰、被表彰者の決定について

9月15日 令和2年秋の叙勲について、厚生労働省から内示があった。

旭日双光章 坪井 厚 会長

8月11日 栄養関係功労者厚生大臣表彰について、3名の被表彰者の決定通知があった。

栄養改善事業功労者 渡邊美子会員

栄養指導業務功労者 繁田英彦会員

古橋啓子会員

8月28日 知事功労別表彰（保健衛生功労）について、2名の被表彰者の決定通知があった。

栄養指導業務功労者 増田きみ代会員

大石良子会員

(2) 日本栄養士会 e-ラーニングの開催について

①がん病態栄養セミナー

②摂食嚥下リハビリテーション分野《初心者研修》

③保健指導担当者研修会《初任者研修会》（演習あり）

日本栄養士会主催、11月1日～30日までオンデマンド配信、申込は日本栄養士会へ

(3) 継続会員会費のクレジットカード決済導入について

2020年10月20日（火）10時より、会費の支払についてクレジットカード決済が可能になる。

今年度未納会員も12月20日迄なら支払方法の変更が可能。（12/21以降ログインできなくなる）

継続会員は次年度会費の支払方法をクレジットカード決済に変更できる。2021年度会費は12/20までに変更すると2021年3月31日に自動決済、12/21以降は随時決済される。

申込は各自日本栄養士会マイページにログインして行う。県栄では受付できない。

会員への案内 （クレジット以外）日栄雑誌11月号にチラシ同封、10月 e-メール、

（クレジット者）日栄雑誌11月号にチラシ同封、1月 e-メール

（会費未納者）12月雑誌同封、12月 e-メール

(4) 会員への通知発送について

12月13日（日）第5回理事会後に、次年度会費納入依頼通知の発送を予定している。

7 その他

・新型コロナ対策について

静岡県栄養士会事務局では基準を設けている。

（入退出時の体温計測と記録、室内、手指の触れた所のアルコール消毒は退出時に行う。休日など使用した会員も記載するなど。）その他、感染予防策を行い、公共交通機関での通勤には配慮。

研修会、講演会は十分に注意し、クラスター発生を予防する。密になった場合や発熱時には担当者に報告、2週間は発症者の把握に努める。県の方針に従う。＊マニュアルは事務所に置いておく。

- ・Web 会議は今後も開催する。山崎会員の協力を得ながらよりスムーズに開催する。
- 本日の Web 参加者より事務所の声が聞き取りにくいという意見があり今後マイクの購入等検討。

8 確認事項

(1) 行事日程の確認について

- ・事務局に連絡。

(2) 役員名簿の確認について

- ・訂正の場合事務局へ連絡。

本日の Zoom (Web 会議) システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以 上

出席理事	坪井 厚
	木下 初代
	戸田 知里 (Web)
	天野 利紗
	宇津木 志のぶ (Web)
	名波 浩美 (Web)
	篠原 啓子 (Web)
	三浦 綾子 (Web)
	森下 知代 (Web)
	若林 恭子
	池谷 広美
	森平 教子
	袴田 裕子
	久保田 美保子
	渡邊 潤 (Web)
	田森 稔浩 (Web)
	寺田 直哉 (Web)
	杉山 智子
出席監事	関 明子 (Web)

議事録作成者 久保田美保子

議事録作成者 森平教子

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2020年9月26日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 坪井 厚 

副会長 新井 英一 

副会長 木下 初代 

監事 関 明子 